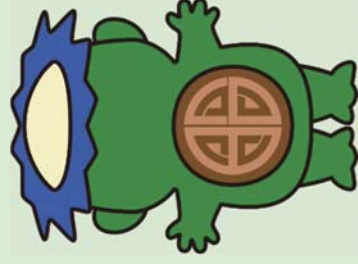


計画の推進

本計画を的確に推進するため、策定を広報あきしまで周知するとともに計画を市のホームページに掲載し、周知と普及啓発に努めます。また、その進行管理を行うとともに、関係自治体と連携し、市民・事業者との協働によって本計画に掲げた施策を推進していくことで、循環型のまちづくりを進めていきます。

計画の見直しについては、今後のごみ処理事業を取り巻く環境やごみの排出量などの変化に的確に対応していくため、本計画の進捗状況等を勘案し検討します。



昭島市

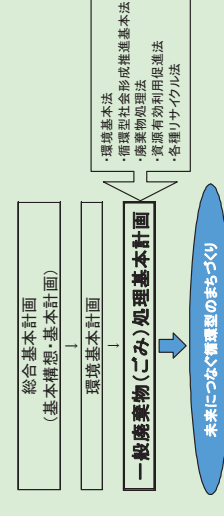
一般廃棄物(ごみ)処理基本計画

【概要版】

計画の概要

計画の位置づけ

本計画は、昭島市総合基本計画や環境基本計画といった上位の計画のもとに定めるものです。



計画期間

計画期間は、令和4年(2022年)度から令和13年(2031年)度までの10年間とします。

ごみ処理事業の課題

ごみ処理事業の現状や取り巻く動向、将来的な見込み等を踏まえると、次のような課題があります。

- (1) ごみの排出抑制
- (2) 分別の徹底
- (3) 市民・事業者・市の三者による取組の推進
- (4) 食品ロスの削減
- (5) 集団回収への支援
- (6) 資源化の推進
- (7) 廃棄物処理サービスの向上
- (8) ごみ処理経費の削減
- (9) 廃棄物処理における温室効果ガス排出量の削減
- (10) ごみ処理施設の将来展望
- (11) 災害廃棄物処理対策

基本施策

基本理念は「未来につなぐ循環型のまちづくり」を前計画から引き継ぐこととし、本計画では3Rの中でも特にリデュース(発生抑制)に力点を置いて今後のごみ処理事業を進めていくこととしました。

使わない物や必要ない物は「買わない、手に取らない、手に取らない」を徹底し、使い捨てライフスタイルを見直しリデュースを推進します。

昭島市 環境部 ごみ対策課

〒196-0001 東京都昭島市美堀町3-8-1

TEL: 042-546-5300 FAX: 042-546-5900

基本理念

未来につなぐ

循環型のまちづくり

現状から見た課題

ごみの排出抑制	家庭ごみ・事業系ごみともに、目標達成のため更なるごみの減量化に向けた取組が必要です。
分別の徹底	可燃ごみに含まれる紙類の分別と生ごみの水切りの徹底に向けた取組が必要です。
市民・事業者・市の三者による取組の推進	ごみの減量化等の目標達成のためには、三者の連携・協働が不可欠です。それぞれの立場で役割を果たしていくことが必要です。
食品ロスの削減	それぞれの立場においてこの課題に取り組み、食べ物を無駄にしない意識の醸成と定着が必要です。
集団回収への支援	資源回収登録団体に対する支援を継続していくことが必要です。
資源化の推進	紙類の分別の徹底や新たな資源回収物等の検討が必要です。
廃棄物処理サービスの向上	他市の事例や市民の意見等を参考に、廃棄物処理サービスの向上に取り組んでいくことが必要です。
ごみ処理経費の削減	事業の効率化を検討しごみ処理経費の削減に努めるとともに、分りやすく公表していくことが必要です。
廃棄物処理における温室効果ガス排出量の削減	適切な施設の維持管理やごみ収集車の低公害化等により、温室効果ガス排出抑制の取組を行っていくことが必要です。
ごみ処理施設の将来展望	可燃ごみ処理施設整備計画策定基本調査の結果を踏まえ、新たな可燃ごみ処理施設整備計画を検討していくことが必要です。
災害廃棄物処理対策	発災時のごみの発生量を推計し、処理に関する基本方針等について定める災害廃棄物処理計画が必要でです。

目標達成のための基本方針

3R（特に発生抑制【リデュース】）の推進	<ul style="list-style-type: none"> 発生抑制と排出抑制の促進【別掲：食品ロス削減推進計画】 自主的なごみ減量化に対する支援 拡大生産者責任に関する市民への周知等 市民・事業者に対する店頭回収等の協力要請等 多量排出事業者に対する減量化の指導 事業者に対する古紙分別・リサイクルの普及啓発 食品関連事業者に対する食品リサイクルの要請等
資源化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ごみ・資源の分別排出の徹底 集団回収の促進 プラスチック資源循環の促進 将来的な資源化方策についての検討
適正処理の推進	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理による環境負荷の抑制 ごみ収集車による環境負荷の低減化 事業者等に対する適正処理の指導 適正処理困難物の事業者処理の推進 災害廃棄物への対応 将来を見据えたごみ処理施設整備計画の策定
市民・事業者・市の三者による協働	<ul style="list-style-type: none"> 昭島リサイクル通信等広報活動の充実 3R（特に発生抑制【リデュース】）啓発活動の充実 循環型社会形成を担う人材の育成 廃棄物減量等推進審議会の設置及び推進員の活用 市民・事業者・市の三者の連携
ごみ処理体制の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理体制の見直し ごみ処理体系の調査・研究 許可業者に対する指導 作業員に対する安全教育

数値目標

令和13年度までに

家庭ごみ1人1日当たり排出量

ごみゼロ
530グラム

事業系ごみ総排出量

ごみふえなし
5,327トン

総資源化率

37.1%

を目指します！

また、東京だま広域資源循環組合での最終処分量ゼロを継続します。

【食品ロス削減推進計画】

食品ロスを削減していくためには、市民・事業者・市それぞれの立場において主体的にこの課題に取り組み、食べ物を無駄にしない意識の醸成と定着を図る必要があります。

数値目標

令和13年度までに可燃ごみに含まれる食品廃棄物の量を令和2年度と比較して50パーセント削減